



主催：研究開発推進機構 研究推進部門 学術研究支援室
共催：ダイバーシティ推進センター

zoom

英語 プレゼン・ 論文執筆 セミナー

論文や学会等、英語で研究成果を発表する時には、「英語の発想」と正しい文法を理解・習得する必要があります。今回は講師として、理化学研究所 小野義正先生をお迎えし、国際学会等でのプレゼンテーションや英語論文投稿の経験が浅い方を対象に、英語プレゼン・論文執筆セミナーを4回シリーズにて開催いたします。

※各回ともZOOMによるWebinar形式・日本語で実施

1/22(金)

14:30-16:00

第1回

英語プレゼン

2/1(月)

14:30-16:00

第2回

英語論文の書き方
Part 1

2/5(金)

14:30-16:00

第3回

英語論文の書き方
Part 2

2/8(月)

14:30-16:00

第4回

英語論文の書き方
Part 3



講師

理化学研究所
創発物性科学研究センター

小野 義正先生

1977年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。イリノイ大学、ケース・ウェスタン・リザーブ大学でのポストドクののち、1982年日立製作所入社。2005年東京大学大学院工学系研究科特任教授。2010年理化学研究所、科学技術振興機構(FIRST外村プロジェクト)を経て、2014年より理化学研究所創発物性科学研究センターにて、研究及び英語論文執筆指導に従事。専門は、科学・技術英語 (Scientific English)、物理、電子デバイス。「ポイントで学ぶ科学英語論文の書き方(改訂版)」「ポイントで学ぶ英語口頭発表の心得」「ポイントで学ぶ国際会議のための英語」等著作・編集多数。



<http://urx.blue/Qy4K>

【事前登録受付中】2021/1/19 締切

- * 定員に達した時点で事前登録を終了させていただきます。
- * 1/20までにご登録のメールアドレスへ 参加案内等をお送りします。

対象

本学の大学院生
論文執筆の経験が浅い本学所属の研究者
その他の本学所属の方

定員

各回300名

お問い合わせ：学術研究支援室 095-819-2208 (内：文教 2208) | senryaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

1/22(金) 14:30-16:00

英語プレゼン

「英語プレゼンテーション
(口頭発表)の心得」

第 1 回

1. プレゼンテーションとは
 2. 英語プレゼンテーション(口頭発表)の心構え
 3. スライドの効果的な使い方
 4. 原稿は読むべきか、読んではならないか
 5. 発表時のマナー・テクニック
 6. 英語口頭発表のきまり文句
 7. 質疑応答(Q & A)
 8. ポスターセッション
 9. 参考書
- 補遺 Professional Self Introduction

2/1(月) 14:30-16:00

英語論文の書き方 Part 1

「英語論文の特徴」

第 2 回

1. 英語論文の特徴
2. 脱日本語的発想をする
日本人英語の欠点(日本人英語の特徴)と改善策
3. 英語論文執筆における3つの鉄則
4. わかってもらえる英語論文は「英語の発想で」
5. 「英語活用メモ」をつくり、英借文する

2/5(金) 14:30-16:00

英語論文の書き方 Part 2

「論文執筆の準備と実際、
論文投稿」

第 3 回

1. 英語論文執筆の準備
2. 英語論文の構成(IMRAD)と各項目の書き方
表題、著者と所属、抄録、序論、本論、結果、
考察、結論、謝辞、引用文献、図と表
3. 論文投稿と査読者(referee)対策

2/8(月) 14:30-16:00

英語論文の書き方Part 3

「作文技術と文法事項」

第 4 回

1. 明確な英語論文を書くテクニック(作文技術=レトリック)
 - (1) 文頭(Beginning of Sentences)
 - (2) 数字の書き方
 - (3) リスト項目の一貫性(並列構造)
 - (4) 短い、簡潔な文(Simple Sentences)を書く
 - (5) 修飾する節や句は修飾対象のすぐ近くに
 - (6) 文意を明確にする言葉(連結語)を使う
 - (7) 不必要な単語・表現を省く
2. 英文を書くときに心得て置くべき文法的事柄
 - (1) 動詞の適切な時制
 - (2) 冠詞の使い方
 - (3) 名詞の使い方
 - (4) 前置詞の使い方
 - (5) 関係代名詞の制限用法と非制限用法
 - (6) 注意すべき単語
 - (7) スペースの使い方
3. 参考書(英語論文の書き方の本)



英語
プレゼン
論文執筆
セミナー



登録受付中!